

Close-up!

第 1 号
Chrome book 通信
教務 I C T 担当
令和 3 年 4 月 2 0 日 (火)

☆実践報告 4 回生国語表現における活用☆

使用機器：クロームブック生徒数（4 A 35 名、4 B 37 名）
ユネスコ P C（モニターに投影する端末として使用）
モニター（HDMI によりユネスコ P C と接続）



授業の概要：シラバスを使い授業の運営方法や評価方法について説明した。

クロームブックの役割：国語表現の学習ポートフォリオへのデータ入力。グーグルフォームを活用し、生徒はアンケートに回答する形でデータを入力した。質問は次のとおり。

クラス

出席番号

下の名前をひらがなで（万一漏洩した場合に個人情報保護するため）

秘密の合言葉（級友同士での悪意あるなりすましを予防するため）

問 01：この令和 3 年度、国語で何を身に付ける？ 所信表明してください。

問 02：模試や考査で点数を取るために必要な力（足りていない力）は何？

問 05：国語に対して持っている意識は？（苦手、どちらかという苦手、どちらかという得意、得意 の 4 択）

問 06：国語に対して持っている意識は？（大嫌い、嫌い、好き、大好き の 4 択）

問 05 と 06 はスプレッドシートからマトリックス化するようにし、リアルタイムで入力結果が反映されるようにした。（ICT の C 実践を試みた）

国語科ポートフォリオ授業開き

*必須

所属クラスは？ *

- ☐ 4-A
☐ 4-B
☐ 5-A
☐ 5-B

出席番号は？ *

回答を入力

下の名前をひらがなで回答してください。 *

例：徳川家康 → 「いえやす」

成果：概ね集中して取り組んでいた。リアルタイムでの投影は効果的であり、生徒の関心が高まった様子であった。

課題：残り時間が少なかったこともあり、生徒の入力量は多くなかった。

今後に向けて

今後は、データとして蓄積し、過去の反省やその反省にもとづく学習計画を閲覧できるようにする。次の学習計画を立てる際は、それまでの反省や学習計画の実施状況を振り返り、計画に反映させるようにする。

それまでの学習を振り返り、次の学びを設計していく。その営みが、同じところに留まってなされているか、進展しているかで、「学びに向かう力」を評価できると予測している。